

# ○「委員の主体的な地区連がスタート」

(京都府綴喜郡宇治田原町第4回地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年1月11日午前9時50分～10時50分
- 場 所: 宇治田原町役場
- 出席者: 農業委員10人、最適化推進委員8人  
事務局2人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 京都府南東部の中山間地域に位置し、町の中央部を東西に国道307号が走り、お茶の産地として知られている。
- 田原地区は、お茶を中心に、きゅうり、みずな、ねぎ、水稻などが栽培されているが、高齢化により山成り茶園や水田で遊休農地が増加している。



## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 事務局主導で実施した過去2回の地区連絡会議では、委員からは多くの意見や課題がだされた。
- 第3回は、委員の主体的な地区連絡会議の運営を目指し、専門家の久保先生の講演と意見交換を行った。
- 今回、会長から「委員が主体的に運営する」、「座長は職務代理が行う」、「事務局はオブザーバー」とあいさつ。
- 田原、宇治田原の2地区に分かれ、「遊休農地の解消」をテーマに意見交換が行われた。
- 始めは、委員の発言は低調であったが、徐々に場に慣れ、「米が高く売れたら作る人もある」、「担い手の確保が先」、「儲かる作物は茶しかない」等の現状や課題などが意見交換され、委員の主体的な運営が行われた。
- しばらくは、総会後に2地区に分かれて地区連絡会議を開催し、座長は輪番で実施する予定。

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 ↑ 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援